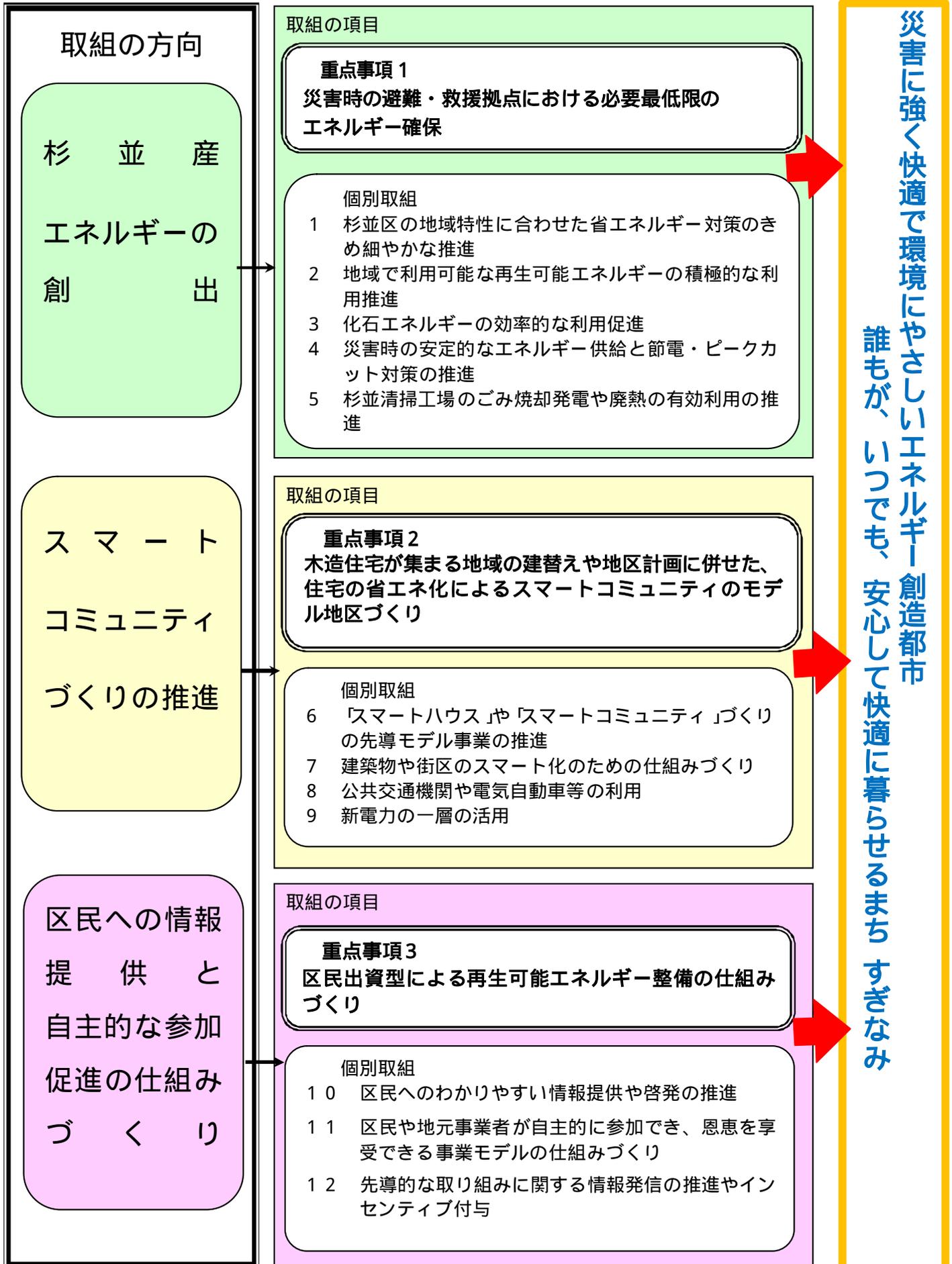


エネルギービジョンの目標と体系



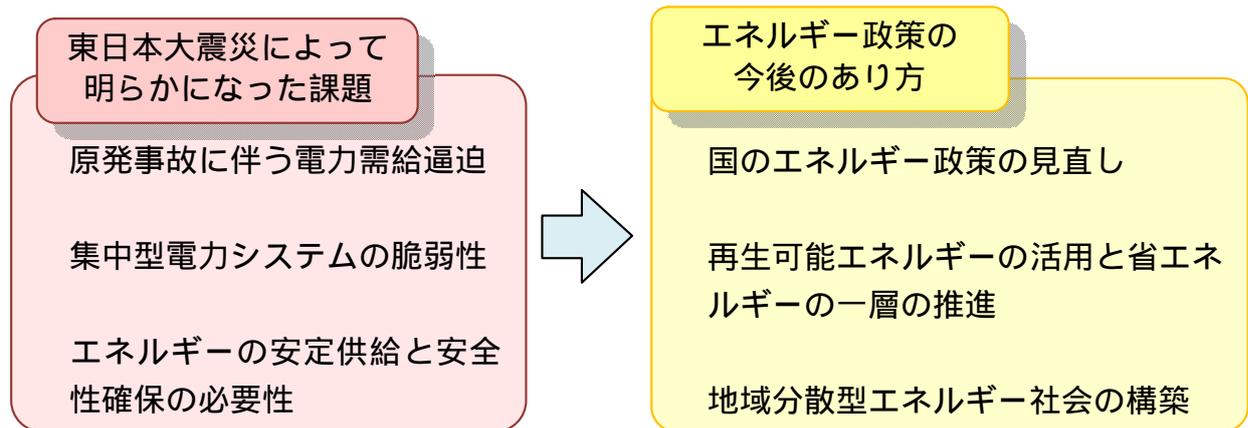
杉並区地域エネルギービジョン(案)の概要

地域エネルギービジョン策定の背景と目的

(1) 背景

東日本大震災に伴い、エネルギーについてのさまざまな課題が明らかになり、区民が安心して快適に暮らしながら、いざという時にエネルギーで困らないまちを創ることが、区としての新たな課題となりました。

この課題解決のためには、再生可能エネルギーの活用と省エネルギーの一層の推進を図るとともに、創出したエネルギーを蓄え、いざという時やピークシフト対策に活用する地域分散型エネルギー社会の構築が必要となります。



(2) 目的

区として、区民の暮らしの快適性と安全性を確保し、大規模災害が発生した時にエネルギーで困らない地域分散型のエネルギー社会を構築するとともに、省エネ・省資源の更なる推進により、環境にやさしいまちを創造するため、区の地域特性をふまえたエネルギー政策の基本的な方向をまとめるものです。

(3) 位置付け等

地域エネルギービジョン(案)は環境基本計画のエネルギー分野を抜き出したもので、計画期間は総合計画の終期と合わせ、平成33年度とし、環境基本計画、総合計画の改定に合わせて見直しを行います。

エネルギービジョンで描くまちの将来像

将来像を「災害につよく快適で環境にやさしいエネルギー創造都市 - 誰もが、いつでも、安心して快適に暮らせるまち すぎなみ」とし、ふだんから災害に備えのある環境にやさしい安全で快適なまち、いざ大規模災害が起きた時にエネルギーで困らないまちをめざします。

ふだんから災害に備えのある環境にやさしい安全で快適なまち

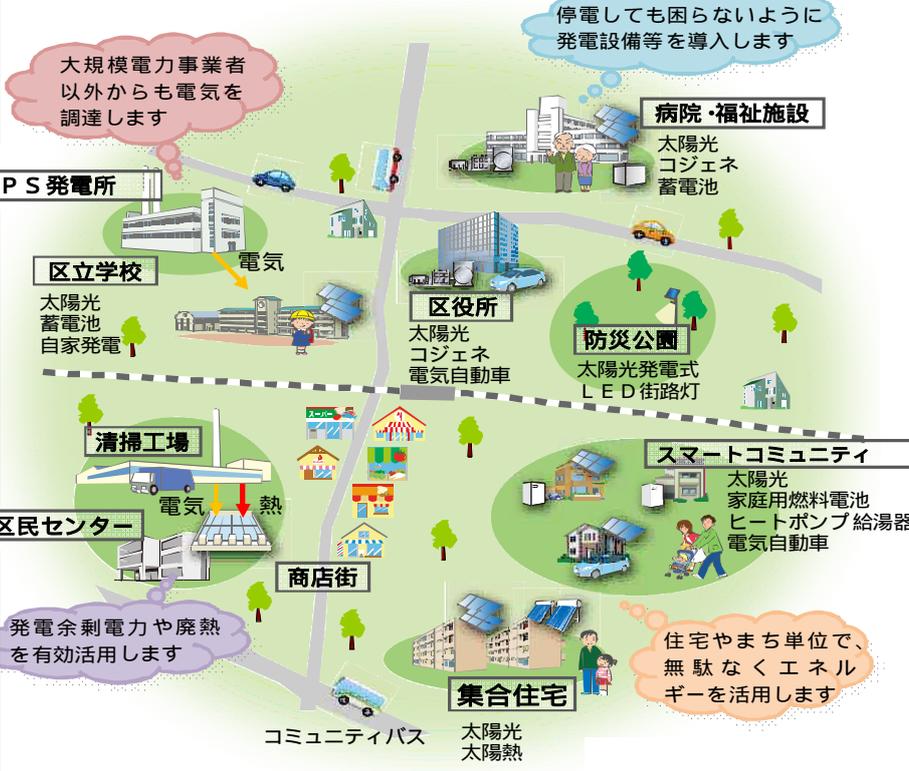
- 災害の発生時に備えて、ふだんから災害につよいエネルギーシステムをまちに整備し、安全で安心して暮らせるまちをめざします。
- 区内の建物の屋根を利用した太陽光発電や区内で発生している熱など、杉並産の環境にやさしいエネルギーを活用して、皆が快適に暮らせるまちをめざします。

太陽光
太陽光を利用して、太陽電池で発電する。

自家発電
エンジン式発電機のこと。

コジェネ
ガスなどで発電すると同時に、発電時に発生した廃熱を給湯や空調に利用する。

スマートコミュニティ
地域全体のエネルギーが有効利用されるよう、総合的に管理・制御する仕組み。



PPS 発電所

特定規模電気事業者による発電所。

蓄電池
電力を蓄える電池のこと。

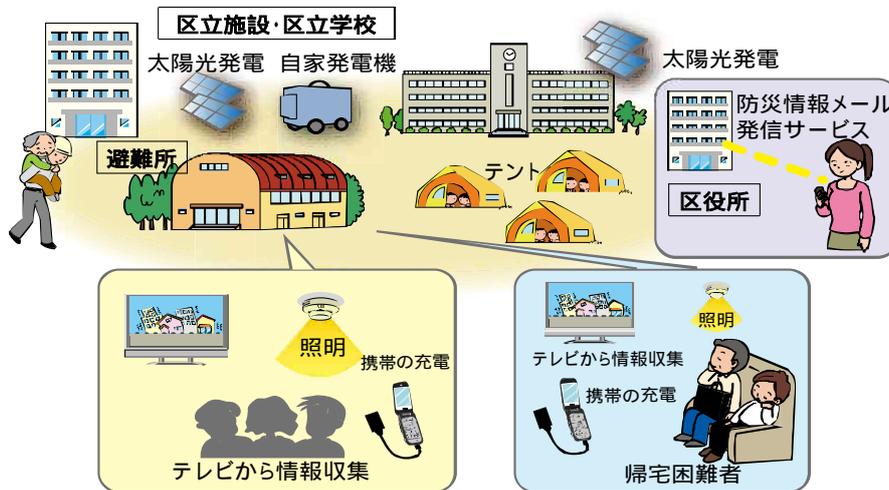
家庭用燃料電池
ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素で発電し、廃熱を給湯に利用する。

ヒートポンプ
給湯器
空気の熱を給湯に利用する給湯器のこと。

太陽熱
太陽の熱エネルギーを集熱器に集め、給湯や空調に利用する機器のこと。

いざ、大規模災害が起きてもエネルギーで困らないまち

災害時に避難拠点となる区立施設や学校などにおける自家発電や蓄電機能を強化し、区民生活が困らないようバックアップできるまちをめざします。



病院・福祉施設などの発電・蓄電機能を強化し、いわゆる「災害弱者」の安心・安全を確保できるまちをめざします。

ここでいう「災害弱者」とは、大規模災害により電力の供給が停止した場合、入所した施設において「生命の危険が生じる」「自力での生活が極度に困難になる」などの状態となる恐れがある人々を指します。

地域エネルギービジョンの目標

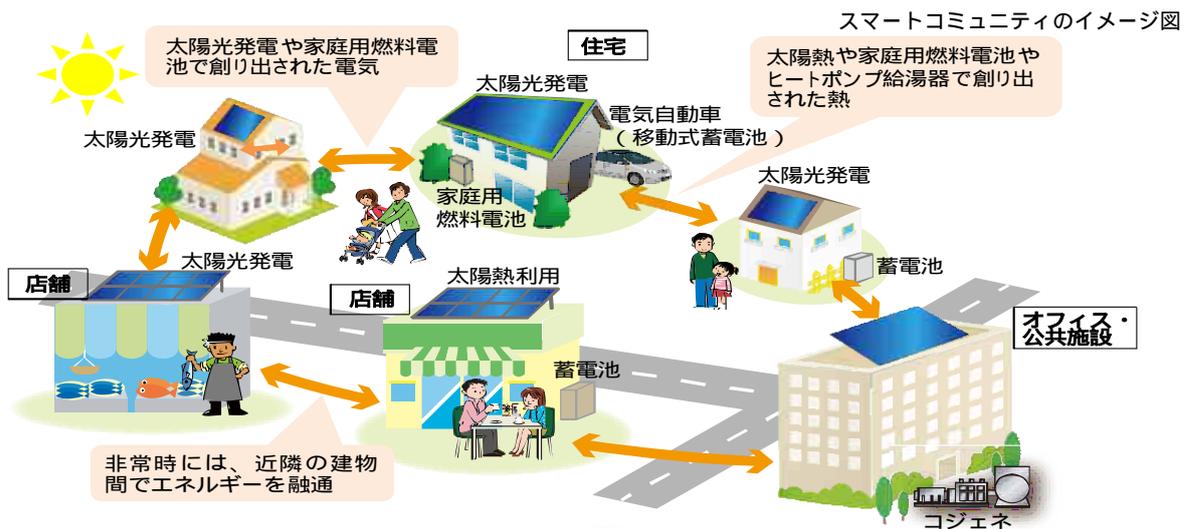
1 杉並産エネルギーの創出

分野	平成 33 年度までの目標
省エネルギー	杉並区全体のエネルギー消費量を平成 22 年度比で 10%削減 区立施設及び区民の節電目標平成 22 年度比で 10%削減
創エネルギー	区内の電力消費量に対する再生可能エネルギー及び家庭用燃料電池による発電量 2%
蓄エネルギー	災害時やピークシフト対策としての電気自動車の活用の推進 救援避難所等の災害時拠点施設への再生可能エネルギー発電機器や自家発電設備、蓄電池の設置の推進

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の影響を考慮し、平成 22 年度との比較で目標を設定しています。

2 スマートコミュニティづくりの推進

モデル地区指定によるスマートコミュニティづくり
建築物における低炭素建築物の割合を高める仕組みづくり
コミュニティバス等公共交通の利用促進
電気自動車、ハイブリッド車の普及促進、急速充電器の区立施設への設置
新電力(PPS)の活用による電力供給の安定化



3 区民へのわかりやすい情報提供と自主的な参加促進の仕組みづくり

周知啓発・相談事業の拡充
環境学習・環境講座におけるエネルギー問題の重点化
エネルギー施策への区民出資によるエネルギー創出と
配当の分配による区内でのエネルギーと富の循環の仕組みづくり